

2025年10月1日発行



(公社)神奈川県理学療法士会ニュース
The Kanagawa
Physical therapy Association
News

P

10 2025
October
No.305

<http://www.pt-kanagawa.or.jp>

A

K a n a g a w a P h y s i c a l t h e r a p y A s s o c i a t i o n

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 内田 賢一 ○編集 | 武田 正一

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[2025.9.1現在] **5,875名**

Contents

P1▶巻頭言 P3▶災害対策部報告 P6▶ライフサポート部報告 P8▶新人教育部報告
P9▶生涯学習部報告 P12▶研修会・講習会 P15▶お知らせ P16▶会長行動
P17▶information P18▶編集後記／原稿送付先

巻頭言

北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科理学療法学専攻 横山 美佐子

世界とつながり、 人とつながる理学療法 —CPC活動を通じて

この度、2025年5月に東京で開催された World Physiotherapy Congress 2025 (WPC2025) において、Congress Programme Committee (CPC) の一員として活動する貴重な機会をいただきました。実はCPCでの活動は今回が2回目で、初めて参加したのはドバイ大会の時でした。しかし当時はコロナ禍で、会議はすべてオンライン。CPCの研究分野や専門性は資料から理解できても、その人となりや雰囲気までは掴みにくく、また体格や表情のニュアンスも画面越しでは伝わらず、どこか距離を感じながらのやり取りでした。そして実際に直接お会いできたのは学会当日。その時の経験は「会う」ことの大切さを強く感じさせるものでした。

一方、今回の日本大会では、初回の会議が2023年12月にロンドンで開かれ、世界各国から集まった理学療法士と、3日間、ホテルに缶詰めになりながら熱い議論を交わしました。顔を合わせ、互いの空気感や人柄を知ることによって、一気にチームワークが深まりました。私にとって最大の課題は英語での意見交換でしたが、時に仲間が「美佐子が言いたいのはこういうことだね」と助けてくれることもありました。そこにはお互いを思いやる気持ちや信頼

関係が生まれ、文化も背景も異なる仲間と尊重し合いながら協働できたことは、かけがえのない経験でした。また査読やプログラム検討においては、日本で積み重ねてきた臨床や研究の経験が役立ち、国際的な場でも貢献できることを実感しました。

この18か月間、毎月の会議を通して、臨床・教育・研究・政策といった多様な視点を持ち寄り、「今、世界が求める理学療法とは何か？」を問い続けてきました。テーマ設定や演題査読を通じ、理学療法の役割の広がりや深さを実感する一方、日本の特徴や課題をいかに発信するかを考える日々でも



巻頭言

ありました。

今回の WPC2025 には世界 127 か国から約 5,000 名が参加し、日本からも約 900 名の理学療法士が集まりました。参加費や距離の制約から誰もが容易に参加できるわけではありませんが、実際に会場に身を置き、世界中の理学療法士の声を聞き、直接語り合うことで得られる学びは、AI や論文からの知識とは異なる「経験」そのものです。情報を集めることも大切ですが、人と出会い、自分の言葉で語り、相手の熱意を肌で感じることは、臨床や研究に新たな視点をもたらします。

若い世代の理学療法士には、ぜひ国内外の学会発表に挑戦してほしいと思います。日本人は特に英語に対して“話せない”と感じてしまうことが多く、それが挑戦の機会を狭めているように思います。しかし、実際に発表準備や質疑応答に臨むことで、自分の考えを整理し、相手に伝える力が自然と鍛えられます。その力は臨床で当事者や家族に説明すると

きに必ず役立ち、結果的にリハビリテーションをより豊かにすることにつながります。これは、検索や動画から得られる知識では代えられない「経験」です。

私自身、完璧でなくても挑戦し続けた“経験”が、大きな財産になったことを、最後に強調したいと思います。



Congress Programme Committee 2025 メンバー

有限会社 木村義肢工作研究所

みなさまのご要望に真摯に向き合い

生活を手助けするものづくりを提供して参ります

〒247-0006 横浜市中区笠間三丁目 40 番 5 号
TEL045-892-5424 FAX045-894-2560 www.kimura-gisho.jp



快足 インソール

Kai Soku Insole

特許取得済み

特許7095847号

国際特許申請済み

★ 清潔な抗菌・防臭仕様 ★

自分の足形がすぐに採れて 歩行を快適にサポート!



- ▶ 特許技術で、自分に最適な足形のインソールが簡単に作れます
 - ▶ 足にバランス良く圧力をかけられる理想的なアーチを作り、バランス能力・運動機能をサポート
 - ▶ 電子レンジで再度加熱し、足形を作り直せるサステナブルなリユース可能商品
 - ▶ S(22~24cm)・M(24~26cm)・L(26~28cm)の3サイズをラインナップ
- 本商品は医療器具ではありません。ケガや疾病の予防や改善を謳うものではありません

● 発売元 **GSI Creos**
株式会社GSIクレオス アパレル部

TEL.06-6944-2626
<https://www.gsi.co.jp>

● 企画元

Ny 株式会社 快足
<https://atarashiya-nh.com>
(公社)日本介護福祉士会 会員

NASAHI
株式会社旭無線

商品詳細は
こちらから



カンタン! 自分だけのインソールがすぐできる!

- 1 「快足インソール」を電子レンジで使用するシューズの中に 500W・50秒加熱します
- 2 「快足インソール」を入れます
- 3 シューズを履きスクワットし、体重をかけ自分の足型を作成

電子レンジ
すぐできる

第19回JIMTEF災害医療研修 アドバンスコース研修会参加レポート

第19回JIMTEF災害医療研修アドバンスコース研修はJICA東京にて8月16日、17日の2日に渡って開催されました。今回の研修は10以上の団体から約90名の医療従事者が参加しました。

初日は『大規模災害発生から急性期の対応』という名目で南海トラフ巨大地震が発生し、大津波により東海から九州にかけての太平洋側の広い範囲で甚大な被害が発生したという災害想定の下、グループに分かれて災害派遣シミュレーションを行いました。

シミュレーションでは、どのような派遣形態が考えられるか、どのような準備が必要か、どのような移動手段が考えられるか、現地ではどのようにどこで活動を開始したらよいか、宿舎をどこに確保するかといった設問に対してチームで協力して検討していききました。私の参加グループは札幌市から派遣されるという設定でした。今回、派遣先被災地が高知県という設定で全グループの中で私たちの派遣元が最も遠距離にありました。空路、陸路それぞれのメリットデメリットや北海道という遠い地域から支援に入る支援者の装備（資機材の内容や量）、自分たちの心身の疲労度、活動開始のタイミングが他チームよりも遅くなる可能性が高いなどのよりリアルなイメージをしながら、移動手段、活動場所の選定、宿泊地の検討を行ったことが、とても印象深く有意義なシミュレーション体験となりました。これは、私自身が実際にDWATとして能登半島地震の被災地支援に行った経験があるからこそ、よりイメージを想起することができたことで、自分のチームをどのように編成（空路は先遣情報収集班、陸路は資機材運搬や生活援助班として行動←陸路ではキャンピングカーを出すというグループもあった）すれば、安全にまた効果的な被災地支援ができるかを考えさ

れられました。

そして初日の後半はHUGを実施し、クロノロの役割で避難所運営を体験しました。避難所に来



図1：急性期シミュレーションの事前説明



図2：グループでシミュレーション中

た避難者の人数や所属、要配慮者などの把握のために人数を記録していましたが、まっさらなホワイトボードに正確な情報を残すことはとても難しく、予めアセスメントシートなどの形式がないと、カウントにミスが生じやすく、結果的に避難者に必要な支援が届かなくなる、もしくは遅くなる可能性があるのではないかと感じました。しかし急性期では実際には細かな情報よりも、大雑把でも

活動報告 I 災害対策部

重要な課題は何かを把握できるように記録していくことが大切であることを学びました。

2日目は初日に作成した HUG を使用し、実際に『自分の避難所（発災後 4 日）に支援者が来る』または『支援者として避難所に行く』というロールプレイを行いました。私は救護班の支援者とし



図 3：HUG を使用した避難所ロールプレイ

て避難所に行くという役割でした。今回は自分が救護班の一員であるという設定であり、自分の役割を的確に避難所運営者に伝えられなかったこと、何の情報を優先的に収集すべきだったのかが不明確で良いロールプレイができませんでした。この点に関して、『評価したものは対応に繋がなければならない』というワードがとても印象的でした。このロールプレイでは避難所運営側に、本日 6 隊目の訪問であること、現場は疲弊していること、すでに隊を要請したのに何も対応されない状況であるなどの詳細設定がなされていたことから、よりリアルな現場の空気感をイメージでき、その十分な対応ができなかったことに焦りも感じました。そのため、避難所支援に入った際には『避難所の一番のニーズが何であるのか』を十分把握すること（既に巡回がなされていた場合は事前情報を十分把握する）そして『自分たちに何ができるのか』を具体的に明示することが大切であることを学びました。

その後、災害食の準備の仕方や試食を行いました。ベーシックコース受講の際にもアルファー化米の作り方を教えて頂きましたが、今回はパックスッキングといってビニール袋とポットのお湯でさまざまな一品が作れることを学びました。また完全メシや栄養バランスカレーといった前回にはなかった新たなレトルト食が増えており、災害時の食料品のバラエティが増えていることは被災者にとって栄養面でも精神面でもとても有難い進歩だと思いました。



図 4：パックスッキングを実演

2日目最後の演習では、医療コーディネーターという立場で、前チームからの引き継ぎ、支援者に対する支援コーディネート、翌日への引き継ぎという 1 日の流れを体験しました。

そこでは手元にある事前情報や他の組織が持つ情報を収集し、いかにまとめて「見える化」し、的確に支援者に指示を出せるかが大事であることを学びました。具体的にはどの地域に、どのようなニーズがあるかを明示しておくこと。それによってどのチームが現地に向かえば良いか指示ができるため、指示を出す前に、「情報の整理がいかに重要であるか」を強く実感しました。今回のロールプレイではいかにコーディネーターの立場が情報に混乱させられる立場かがわかったため、少しでも自分が現場の力になれるよう練習を重ねたいと思いました。JIMTEF ファシリテーターからも繰り返しの経験が必要であると言われました。



図 5：避難所医療コーディネーター体験

【2 日間の研修を通して】

アドバンスコースでは実践に繋がるシミュレーション、ロールプレイを多く勉強させていただき、自分が現地にいたら…というリアルなイメージを持たせてくれました。また今回は災害対策本部や避難所運営など、その場を統括するという立場で、かつ急性期という時期の想定でした。これまでは自分が支援に行った団体のリハ職の1人という考え方の枠組みしか持っていませんでしたが、この機会にさらに大きな視点、考え方を学ぶことができ、災害支援の幅の広さと深さを実感した有意義な時間でした。

株式会社エヌ・エフ・エーは
保険を通じて暮らしやビジネスを
サポートします



株式会社 エヌ・エフ・エー

保険のトータルプランナー

〒110-0015

東京都台東区東上野1丁目6-2 荒井ビル2階

TEL.03-5818-0711 (代表) FAX.03-5818-0710

<https://www.nfa-ins.co.jp>

有限会社 足柄リハビリテーションサービス

社会貢献 社会実装
地域をリハビリテーションする会社



総合案内
本社

〒250-0853 小田原市 堀之内 218-3
TEL: 0465-39-3730 FAX: 0465-37-5740
<https://ashigara-reha.jp/>



小田原Lエール
女性活躍推進委員会
ゴールドステージ認定

理学療法士
作業療法士
正・准看護師

皆さんの活躍を
待っている人がいます

スタッフ募集中*施設見学受付中

- ・訪問看護
- ・通所介護
- ・訪問介護
- ・小規模多機能
- ・健康増進事業
- ・放課後等デイ
- ・保育所等
訪問支援事業
- ・観光事業

育休制度について 『知っていますか？ 産後パパ育休制度』

ライフサポート部
活動報告 第88報
職場環境を考える

パパ育休について知っていますか？ニュースなどでもよくみかけるようになったと思いますが、その内容について知らないことも多いのではないかと思います。今回は育休とは別の男性の産休とも言える「**産後パパ育休**」の概要について簡単に説明したいと思います。

「産後パパ育休」は、男性の育児参加を促進するために2022年10月1日に施行された新しい休業制度です。

正式名称は「**出生時育児休業**」といいます。



1. 目的と対象者

（目 的）主に男性労働者が、子の出生直後の特に大変な時期に育児に積極的に関われるように支援することを目的としています。これにより、女性の産後の身体的・精神的負担を軽減し、夫婦での育児分担を促します。

（対象者）原則として男性労働者が対象で、労働契約の期間が定められている有期雇用労働者も対象となります。

2. 取得期間と分割取得

（取得期間）予定日もしくは、出産日のいずれか早い日から産後8週間以内（出産日を含む）に、最大4週間（28日間）まで取得できます。

通常の育児休業との違い：この制度は、子が1歳になるまで取得できる通常の育児休業とは別に取得できる独立した休業制度です。

（分割取得）**取得期間を2回に分割して取得することが可能**です。ただし、分割して取得する場合は、初回の申請時に、出生後8週間のうちいつ休業し、いつ就業するかをまとめて申し出る必要があります。

3. 給付金

産後パパ育休を取得した場合、条件を満たせば以下の2種類の給付金を受け取ることができます。

①育児休業給付金：

支給額：休業開始から180日間は67%、181日目以降は50%の給付率で算出されます。休業中に給与が支払われた場合、その金額に応じて給付金が減額されたり、支給されなくなったりすることがあります。

活動報告Ⅱ ライフサポート部

②出生後休業支援給付金（2025年4月1日施行）：

子の出生直後の休業期間の経済的支援を強化し、育休取得者の手取り額を実質100%に近づけることを目的とした新しい給付金です。

被保険者（育休取得者）と配偶者が、子の出生日または産後休業後8週間以内にそれぞれ14日以上の育児休業を取得することなどが条件です。

支給額：最大28日間、従来の育児休業給付金（休業開始時賃金の67%相当）に加えて、休業開始前賃金の13%が上乗せ支給されます。これにより、給付率が合計80%となり、社会保険料の免除と合わせて実質的な手取り額が休業前の100%相当になるとされています。

ちなみに・・・

いわゆる「育休」「子の看護休暇」「時短勤務」なども男女ともに適用されています。

令和7年は、両立しやすくするための改正が行われています。

（例えば）

＊事業者は、制度の取得促進と取得後の両立に関する制度取得の意向確認が義務に。

「取らないよね？」はNGです。

＊「子の看護等休暇」は小学3年生まで取得可、看護以外の取得要件拡大（入園・入学式など）

＊あくまでも概要なので、対象や申請方法等詳細に関しては職場や厚生労働省のHPなどで確認してください。



Gift

オリジナルカーシート
(150センチ程度まで)

日本ウイール・チェア株式会社
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31
TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730

そのほか当社では
福祉用具レンタル・販売
も取り扱っています



NIHON WHEELCHAIRS

<http://nwc-kurumaisu.com/>

MAKERS OF PERFORMANCE PROSTHESIS & ORTHOSIS



湘南義肢研究所

整形靴から義足、車いすまで

神奈川で半世紀
これからも気分の上がる装具をお届けします！

最新情報はFacebookで

横須賀市小川町27 TEL 046-822-6722 <https://www.sp-i.net>



2025年入会者の前期研修 e-ラーニング開始しました！

新人の皆様、お待たせいたしました。前期研修のe-ラーニングの受講が9月より開始されました！受講費は無料ですが、視聴には申し込みが必要です。申し込み方法は、マイページ→「生涯学習管理」→「セミナー検索画面」を選択して、前期研修A～Cを申請してください。前期研修A～Cの申し込みは一括で行うことができます。

e-ラーニングの各コンテンツの講義時間は90分です。まとめて受講することは難しいと思われるので、1つ1つ時間があるときに視聴してください。申し込みをしてから翌年度も継続して視

聴が可能となっていますので、安心して2年間かけて修了してください。前期研修のA～Dの受講順序は問いませんが、実地研修をD-2（勤務先で実地研修ができないため、オンラインと症例検討の聴講で聴講予定の場合）で履修する場合のみB-5を受講してから症例検討（後期研修のE領域）を聴講してください。

前期研修は、他の研修会受講での読み替えはほぼできませんし、本会でのA～Cの対面開催は今年度も行いませんので、e-ラーニングにて受講をお願いします。

後期研修中の士会主催症例検討会E-3・ 前期研修のD-2（症例検討）について

今年度本会が主催する症例検討会は、残り2回開催予定です。第4回目「内部障害系症例検討会」は、オンラインにて11月30日（日）（セミナーID 148558）、県学会が開催される2月1日にパシフィコ横浜にて行われます。この検討会は、演者による発表10分、聴講者間によるグループディ

スカッション10分、質疑応答10分の合計30分としています。これにより、発表者の負担を軽減し、聴講者による症例検討が積極的に行われるようにしています。聴講をご希望の先生方は、マイページから申し込みください。

士会主催症例検討会（内部障害系）E-3

- セミナー ID：148558
- 開催日：2025年11月30日（日）10時～11時50分
- 開催方法：Zoomによるオンライン ■ 定員：50名 ■ 参加費：無料
- 参加条件：3症例分の全ての症例検討会を聴講可能であること

近年、聴講希望者希望が増えており、申し込み締め切り前早々に定員に達する可能性がありますので、早めにお申し込みください！！また、申し込みしたけれどもキャンセルを希望する場合は、

早めに新人教育部までご連絡をお願いします。

新人教育部連絡先：
syoreikentou@pt-kanagawa.or.jp

活動報告Ⅲ 新人教育部

新人教育部員のつぶやき…

「引き出しを増やしておくといいよ」この言葉は臨床実習の最終日、尊敬する先輩が私に贈ってくれた言葉です。20 数年経った今でも、この言葉の意味を考え「私の引き出しは増えているのか」自問自答しながら日々歩んでいます。近年、社会情勢・診療報酬・職域、理学療法士を取り巻く環境は変化し、柔軟な対応が求められます。組織に従事する理学療法士は、「組織的役割遂行能力」「業務能力」「臨床実践能力」「教育・指導」を養うべ

く日々奔走します。ここで重要な役割を果たすのが、生涯学習制度です。新人教育部では士会主催症例検討会を開催し、微力ながらお手伝いをさせて頂いております。会員の皆様、同じ専門職の仲間達とのディスカッションで学びを深め、共に成長しましょう。そして、理学療法士としての「引き出しを増やしていきませんか。」

新人教育部 橋本 健太郎（東名厚木病院）

活動報告Ⅳ 生涯学習部

2025年度（公社）神奈川県理学療法士会 生涯学習部主催講習会のお知らせ

御確認の上、日本理学療法士協会「マイページ」から登録をお願いします。

詳細（履修ポイント、申込受付期間 等）は日本理学療法士協会マイページ等を御確認ください。

いずれも（2 回目）は（1 回目）に生配信で開催した講習会の録画配信となります。御注意ください。

【神奈川県理学療法士会 生涯学習部主催「歩行・歩行障害」講習会】

テーマ：今、歩行の基本を再確認

内 容：理学療法を行う上で、歩行練習は不可欠であり日常とも言えますが、それゆえに「日常化」してしまい、基本を再確認する、練習を考え直す、という機会を逸してはいないでしょうか？

講習会の前半は、歩行分析の権威である山本澄子先生にお話いただき、歩行の基本を再確認します。後半は、2 名の理学療法士から、症例を通じて、片麻痺者の歩行の特徴や、歩行練習の一案を提示させていただきます。

生配信では、チャット機能を利用し、受講者の方から御質問をお受けするだけでなく、悩みや工夫などの意見交換をしていただきながら歩行練習を再考できればと考えています。

「明日からやってみたい」と思える歩行練習のヒントを得る機会にさせていただきたいです。

講 師：山本 澄子（国際医療福祉大学大学院 福祉支援工学分野教授 エンジニア）

熊木 由美子（横浜市立脳卒中・神経脊椎センター）

三浦 周（横浜市立脳卒中・神経脊椎センター）

日 時：（1 回目）2025 年 11 月 30 日（日）10：00～13：00

（2 回目）2026 年 1 月 16 日（金）12：00～1 月 26 日（月）12：00

質問受付×切 2026 年 1 月 27 日（火）12：00

活動報告Ⅳ 生涯学習部

【神奈川県理学療法士会 生涯学習部主催「装具」講習会】

テーマ：脳卒中患者における下肢装具装着の重要性と工夫

内 容：脳卒中患者は歩行障害に伴い転倒率が高いことから、下肢装具を装着する。装具を使用することで歩行速度の向上や荷重量の対称化、静的・動的バランスの改善なども期待できる。しかし、装着には時間を要することが多く、嫌悪感を抱くものも少なくない。自己判断で装具の使用を中止することで転倒するという悪循環がうまれてしまう。

本講演にて、装具装着における重要性や若手セラピストでも今すぐ始められる装着の工夫などを紹介し、脳卒中患者の装具装着率の向上に繋がることを期待する。

講 師：右田 正澄 先生（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 理学療法学科）

日 時：(1 回目) 2025 年 9 月 6 日（土）10：00～13：00 ← 終了しました

(2 回目) 2025 年 11 月 14 日（金）12：00～11 月 24 日（月）12：00

質問受付×切 2025 年 11 月 25 日（火）12：00

【神奈川県理学療法士会 生涯学習部主催「循環障害」講習会】

テーマ：循環器疾患を有する患者さんに対するリハビリテーションの際に気をつけたいこと

内 容：高齢者に循環器疾患を合併していることは多く、脳血管疾患等リハビリテーションや運動器リハビリテーションで対応されている患者さんにおいても、循環器疾患に対する病態把握が必要となることや急変時の対応が求められることがあります。本講習会では心大血管疾患リハビリテーションに直接携わっていない医療者向けの内容になりますが、循環器疾患を有する患者さんに対するリハビリテーションの際に気をつけたいことをお伝えできればと思います。

講 師：重政 朝彦 先生（横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 循環器内科医師）

日 時：(1 回目) 2025 年 9 月 14 日（日）10：00～13：00 ← 終了しました

(2 回目) 2025 年 12 月 5（金）12：00～12 月 15 日（月）12：00

質問受付×切 2025 年 12 月 16 日（火）12：00

注意事項

【受講費に関して】

*受講費：本会会員 3,000 円、他都道府県士会会員 6,000 円

*受講費は事前に振り込みをするか、カードでの引き落としとなります。

振り込みの場合は手数料を御負担ください。

*入金確認ができましたら、受講登録が完了します。

*納入期限の時点で入金の確認が出来なかった場合はキャンセル扱いとさせていただきます。

*納入後のキャンセルにつきましては、受講費の返還はされませんので御了承ください。

*領収証が必要な方は、日本理学療法士協会のマイページよりダウンロードしてください。

【申し込みに関して】

*キャリアメール（携帯電話のメール）は登録しないでください。

（連絡メールが届かないことや視聴できないことが多発しております。携帯メールで登録した場合に生じたエラーについては対応できませんので、くれぐれも御注意ください。）

*基本的に、日本理学療法士協会のマイページに登録されたメールアドレスを使用させていただきます。

*セキュリティの設定により、連絡メールが迷惑メールフォルダに振り分けられている場合がございます。

活動報告Ⅳ 生涯学習部

ます。必ず御確認をお願いいたします。

*登録アドレスの不備により連絡メールが届かない場合の責任は負いかねます。

【視聴登録・視聴に関して】

*視聴の際には、必ず申込時と同一のメールアドレスで登録してください。

*本講習会はログイン時にパスワードを設定し、申込者のみ受講いただけます。複数人での視聴は禁止いたします。万が一、申込者以外の視聴が確認された場合、主催者側で当該者の退室、あるいは視聴制限を行う可能性もございます。

*上記注意事項に違反している場合、視聴されてもポイント付与、受講費の返還はされませんので御注意ください。

*各個人のシステムトラブル等には対応しかねます。

予め御自身が使用される機器のWEB環境を十分に御確認ください。

(事前の動作確認を推奨いたします。)

*受講中の各個人のシステムトラブルによる通信障害はいかなる場合も受講費の返還およびポイント付与の対象とはなりません。

*受講中の録音、録画、撮影等は固く禁じます。

発見した場合、今後の受講禁止等の罰則を与えます。

【ポイント付与に関して】

*ポイント付与等の一切は日本理学療法士協会の管理となっております。

日本理学療法士協会の案内を御参照くださいますようお願いいたします。

*JPTA（日本理学療法士協会）のアプリを使用いたします。

講習会開始までに必ずダウンロードをお願いいたします。

*講義の途中と終了時にQRコードを表示いたします。

QRコードの読み取りをもって受講を承認いたしますので、JPTAのアプリを御準備の上、受講いただきますようお願いいたします。

*講義の2/3以上の時間の出席が確認できない場合、ポイントは付与されません。

*生配信では休憩時間中も接続したままにさせていただきますようお願いいたします。

*ポイント付与には一定の期間を要します。

*注意事項に抵触する場合、ポイントは付与されません。

【個人情報保護に関して】

*御提供いただきました個人情報は、講習会の御出席の確認、講習会に必要な連絡のためにのみ使用いたします。

個人情報は、主催関係者および業務委託先を除く第三者に開示・提供することはありません。

個人情報は、本会の個人情報保護方針に基づき、安全かつ適切に管理いたします。

申込をもって、本注意事項を御確認の上、御同意いただいたものとみなします。

お問い合わせ先

(公社) 神奈川県理学療法士会 生涯学習部

E-mail: shogaigakushu@pt-kanagawa.or.jp お問い合わせはメールでお願いします。

*上記注意事項に記載済事項に関してはお答えできませんので御了承ください。

全国リハビリテーション学校協会 第38回教育研究大会・教員研修会

テーマ：Next リハビリテーション教育 - アウトバンド・インバウンド対応型教育に向けた準備 -

内容：主な内容

1. アウトバンド・インバウンド教育
- ・アウトバンド（日本から海外へ学びに行く）：Donald A Neumann（筋骨格系キネシオロジーの著者）、Chee Wee Tan（イギリス・シンガポールでの臨床・教育経験者）など、海外で活躍する講師による講演
- ・インバウンド（海外から日本へ学びに来る）：木村貞治（根拠に基づく実践の普及者）、田島明子、百瀬公人など、日本国内の専門家による講演

開催日時：2025 年 10 月 18 日（土）・10 月 19 日（日）

会場：医療創生大学いわきキャンパス

〒970-8551 福島県いわき市中央台
飯野 5-5-1

受講料：参加費

【早期登録】

登録期間 2025 年 7 月 1 日（火）～9 月 20 日（土）

会 員：8,000 円（全国リハビリテーション学校協会会員校の教職員）

非 会 員：10,000 円（全国リハビリテーション学校協会非会員の教職員）

教育機関に所属していない理学療法士、作業療法士、言語聴覚士：3,000 円

【通常登録】

登録期間 2025 年 9 月 21 日（日）～10 月 19 日（日）

会 員：9,000 円（全国リハビリテーション学校協会会員校の教職員）

非 会 員：12,000 円（全国リハビリテーション学校協会非会員の教職員）

教育機関に所属していない理学療法士、作業療法士、言語聴覚士：5,000 円

お問い合わせ：全国リハビリテーション学校協会 第
38 回教育研究大会・教員研修会 運営
事務局

E-mail：rehatki38@isu.ac.jp

第12回日本予防理学療法学会学術大会のご案内

テーマ：『あらゆる年齢のヒトが健康的な生活を持続するための疾病・障がい予防の探求』

内容：このたび、第 12 回日本予防理学療法学会学術大会を、下記の通り開催する運びとなりました。フレイル予防、転倒予防、地域医療、スポーツ、運動器、産業保健、テクノロジー、ヘルスプロモーション、メンタルケア、学校保健、栄養など、幅広い分野の著名な講師陣が福岡の地に集結し、最新の知見と実

践を共有いただきます。また全国から集まる研究報告は、臨床や研究活動に直結する多くの学びが得られる内容となっております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催日時：令和7年11月8日（土）・9日（日）

会場：令和健康科学大学 1 号館・2 号館
（福岡県）

お問い合わせ：第 12 回予防理学療法学会学術大会
準備委員 広報担当 奥之山峻

E-mail：jsptp12@jsptp-congress.com

股関節症の治療とリハビリテーション 歩行再建に向けた運動療法の実際

テーマ：最新の外科的治療の紹介や運動療法の実際について、経験豊かな整形外科医や理学療法士から講義や実技を通じて知識・手技・考え方を学ぶ。

内容：整形外科医による保存療法の考え方と手術適応／手術支援ロボット（MAKO）を用いたTHA、股関節鏡視下手術について
理学療法士による変形性股関節症の機能解剖（講義）／股関節機能獲得のための臥位・座位・立位での実技／動画による症例提示

開催日時：2025年11月9日（日）9:00～16:30

会場：神奈川リハビリテーション病院
3階研修室

受講料：5,000円

講師：

整形外科医：杉山肇 佐藤龍一 松下洋平

理学療法士：平田学 金誠熙 森田融枝

横山哲也 井上千愛 太田啓介

杉山弘樹

定員：理学療法士・作業療法士 24名

注意事項：お申し込みは、病院ホームページ（<https://www.kanariha-hp.kanagawa-rehab.or.jp/>）の「医療職向け セミナーのご案内」より検索していただき、申し込みをお願いいたします。ご不明な点がございましたら、お問い合わせ下さい。

お問い合わせ：E-mail：res-dep@kanagawa-rehab.or.jp

第11回日本精神・心理領域理学療法学会学術大会

テーマ：こどものメンタルヘルスと社会支援～
理学療法士に求められる支援を探る～

内容：■大会長講演

こどもの自己感とメンタルヘルス～
当院の臨床活動を中心に～

講師：加賀野井 聖二（芸西病院）

■特別講演Ⅰ

児童精神科領域の現状と対応（仮）

講師：高橋 秀俊（高知大学医学部）

■特別講演Ⅱ

児童・青年期支援の実践的アプローチと司法精神医学とのつながり（仮）

講師：宮口 英樹（高知健康科学大学）

■シンポジウム

「就労支援に対するセラピストの関わり」～障がい児者、触法者の就労をどのように支援していくか～

シンポジスト：

公文 一也（元安芸福祉保健所、
現芸西病院）

近藤 友香（芸西病院）

喜多 一馬（ケアホーム住吉）

上田 研太（大阪精神医療センター）

社会復帰を目指す当事者（A氏）

開催日時：2026年1月10日（土）

オンデマンド配信：2026年1月17日（土）

～2月15日（日）

会場：エブノ泉の森ホール

泉佐野市立文化会館：大阪府泉佐野市
市場東一丁目2番1号

お問い合わせ：E-mail：seishinsinri@gmail.com

（担当：石橋雄介）

理学療法技術講習会 身体運動学と理学療法

テーマ：身体運動学に基づく理学療法

内容：本講習会では、肩・股・膝関節を中心に運動学について講義し、それらの運動学に基づいた理学療法の理論と技術について講習する。具体的には、筋の運動学と機能、筋力低下の原因と筋力評価、筋力トレーニングの原則、肩・股・膝関節の運動学、関節の機能評価とトレーニングの実際、肩・股・膝関節のストレッチングの実際、下肢の筋力トレーニングの実際等について講義・実習を行う。

開催日時：B：2026年1月31日（土）9:30（開始）
ー2月1日（日）17:50（終了）

会場：京都大学医学部人間健康科学科

受講料：20,000 円

講師：市橋 則明（関西医科大学リハビリテーション学部）
建内 宏重（京都大学大学院医学研究科）

定員：48 名

注意事項：・登録理学療法士の更新用ポイントまたは認定・専門理学療法士の更新用点数のどちらを取得するかを申込時に選択してください。申し込み後に用途の変更はできません。

- ・申し込み締切後、受講可否の連絡をいたします。締切日から1週間を過ぎても受講可否の連絡がメールで届かない場合は、下記の問合せ先にご連絡ください。
- ・受講費振込後には、原則返金を致しません。
- ・申込方法 添付書類内記載の Google form のアドレスまたは QR コードからアクセスし、A・B を選択および必要事項をご記入の上、送信してください。

お問い合わせ：京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 八木優英

TEL：075-751-3948

E-mail：kyoto.pt.seminar.kinesiology@gmail.com



【最大100万円】ロボット導入支援補助金の申請受付中です！

▼内容

神奈川県では、「さがみロボット産業特区」の取組を活用して商品化された生活支援ロボットの導入経費の一部を最大100万円まで補助する「ロボット導入支援補助金」の交付申請を受け付けています。対象ロボットには、オフィスや介護・医療現場でも役立つロボットなど多数のロボットが補助対象となっております。ぜひご活用ください。

▼ロボット導入支援補助金とは？

「ロボットと共生する社会」を実現するため、【職場】や【家庭】におけるロボット導入の経費を補助する制度です。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/sr4/robot-donyu-hojo.html>

▼対象ロボット

「手指のリハビリ補助ロボット」、「歩行トレーニングロボット」、「リモートで機能訓練支援をするサービス」、身体の負担を軽減するマッスルスーツ、「見守り介護ロボット」、「服薬支援ロボット」や自律走行が可能な「お掃除ロボット」、「配膳・配送ロボット」等多数のロボットが補助対象となっております。

対象ロボットの詳細は、下記のURLからご確認ください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/75493/hojo-flyer2025-05-23.pdf>

▼ロボット導入支援補助金は、以下の皆さまが申請できます。

- (1) 県内に事務所または事業所をお持ちの法人・個人事業主さま
- (2) 県内の事務所又は事業所等
- (3) 県内に在住している個人の方
- (4) 上記(1)(2)(3)にロボットを貸与するため、ロボットを購入するリース業者・レンタル業者の方

▼補助金額

導入経費の3分の1

＊上限：1申請者につき100万円

▼申請期限

令和8年2月13日（金）まで

予算の上限に達した場合には、期限前でも受付を終了することがあります。

どうぞお早めにお問い合わせください。

▼お申込み方法

県ホームページから各様式をダウンロードし、必要事項を記載の上、郵送又は電子申請システムにてお申し込みください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/sr4/robot-donyu-hojo.html#5hituyoushorui>

▼お問い合わせ

産業労働局 産業部 産業振興課
さがみロボット産業特区グループ
電話 045-210-5652（直通）



会長行動報告

報告期間 令和7年（2025年）6月1日～令和7年（2025年）8月31日

当該期間の会長職務の執行状況を報告します。

6月	5日	(木)	第45回関ブロ学会 第7回準備委員会	Web
			日本理学療法士協会 第54回定時総会議事運営委員会	Web
	7日	(土)	日本理学療法士協会 第54回定時総会 議長	ベルサール汐留
	8日	(日)	日本理学療法士協会 第54回定時総会 議長	ベルサール汐留
	12日	(木)	神奈川県議会 予算要望ヒアリング	県庁新庁舎
	16日	(月)	神奈川県医療専門職連合会 定時総会	横浜情文会館
	17日	(火)	神奈川県理学療法士連盟 対策会議	Web
	19日	(木)	田中まさし先生 川崎北部ブロック遊説同行	病院・施設等
	22日	(日)	神奈川県理学療法士会 第46回定時総会	横浜リハ専門学校
			臨時理事会	横浜リハ専門学校
	25日	(水)	新体制事務手続き検討会議	事務所
7月	26日	(木)	早稲田ゆき衆議院議員（立憲民主党）政策検討会議	事務所
	30日	(月)	新組織運営検討会議	事務所
	1日	(火)	横浜市整形外科医会 市民講座検討会議	横浜市医師会館
	2日	(水)	第45回関ブロ学会 第8回準備委員会	Web
			第4回常任理事会	Web
	5日	(土)	日本理学療法士協会理事会 傍聴	Web
	9日	(水)	臨床実習指導者講習会神奈川県協議会	Web
	11日	(金)	会員と面会相談	事務所
	12日	(土)	田中まさし先生 神奈川ラウンド勉強会	横浜リハ専門学校
	23日	(水)	神奈川県医療専門職連合会 理事会	Web
	25日	(金)	神奈川県健康医療局 面会	県庁
8月	26日	(土)	第2回事業運営会議	ビジョンセンター横浜
	30日	(水)	県臨床検査技師会 芹澤会長通夜（松本副会長代理出席）	伊勢原
	7日	(木)	第45回関ブロ学会 第9回準備委員会	Web
			第5回常任理事会	Web
	8日	(金)	産前産後理学療法の検討会議	Web
	22日	(金)	日本理学療法士協会 斉藤会長私的勉強会	Web
	28日	(木)	第3回理事会	Web



日本理学療法士協会会員証・協会マイページログインについて

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。

今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必要なになります。携帯する様にお願いします。



紛失・破損等による再発行は、**有料（500 円税別）**となりますので、ご注意ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必須となります。

- *「ID・パスワード再発行」はログインページの「ログインできない方はこちら」をクリックし、再発行申請手続きを行ってください。
- *会員証・ID・パスワードの再発行の申請について詳しくは、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。ご不明な点は、日本理学療法士協会へお問い合わせをお願いいたします。

年会費（納入方法）

年会費の納入方法は「クレジットカード決済」または「口座振替」となります。

クレジットカード決済にご利用可能なブランドは次のとおりです。（決済手数料負担なし）

VISA / mastercard / JCB / AMERICAN EXPRESS / Diners Club

*日本理学療法士協会マイページから随時変更可能です。

*口座振替ご希望の方はお持ちの金融機関口座から引落出来ます。ご登録いただいてから引落決済が利用できるまでに1か月程度かかる場合があります。

*いずれかの方法で決済ができない場合は、振込用紙を送付させていただきます。（納入手数料がかかります）



編集後記

横山先生の巻頭言を拝読し、「経験することの価値」が力強く伝わってきました。オンラインだけでは得られない「人と会う」「場を共有する」ことの大切さが、実際の先生の経験を通して語られており、とても共感しました。ICTやAIの活用により効率的に情報を収集することは可能ですが、そこからは得られないものもあると感じます。相手の熱量や思い、言葉の背景にある空気感を直接感じ取ることができ、その臨場感や温度感は、画面越しのやり取りでは決して再現できない、かけがえのない経験であると改めて感じました。また、英語に不安を感じながらも仲間の支えを得て挑戦し続けた姿勢は、私自身の背中を押してくれるようにも感じました。

「完璧でなくても挑戦し続けた経験が財産になる」という言葉が特に心に残りました。私自身も、日常業務の中で英語や国際交流には後ろ向きになりがちですが、この記事を通して「挑戦することでしか得られない学び」があると気づかされました。これからは自分の仕事や研究の場でも、小さくても挑戦を積み重ねていきたいと改めて感じる事が出来ました。

WPCに限らず国際的な学会に挑戦することの意義を改めて考えさせられました。学術的な知識の共有にとどまらず、人との出会い、信頼関係、異文化理解といった「経験」が臨床や研究を豊かにすることがよく伝わってきました。若い世代が英語に臆せず挑戦することの大切さ、そして挑戦が臨床力の向上にもつながるという視点は非常に示唆に富んでいます。教育に携わる者として、学生にもぜひ伝えていきたいと感じました。

ニュース編集係 須藤 ゆかり



神奈川県理学療法士会の
公式アカウントがあります。

研修会やイベント、県士会からの
重要な情報を LINE や X でお届けします！

X
QRコードをスキャンしてください



@ 720prcny

LINEの「友だち追加」から、ID検索するか
QRコードをスキャンしてください



友だち数 1219

・ニュース編集係員・

担当理事：西田 友紀子
(横浜市立みなと赤十字病院)
係 長：武田 正一
(横浜リハビリテーション専門学校)
委 員：上垣 亮太
(横浜リハビリテーション専門学校)
須藤 ゆかり
(横浜リハビリテーション専門学校)

次号の原稿締め切りは**2025年12月1日**です。

岩崎学園 横浜リハビリテーション専門学校
理学療法学科 (ニュース編集係宛)

news-hensyu@pt-kanagawa.or.jp

〈原稿は添付ファイルでお願いいたします〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。
円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくお願いいたします。